



暑さ寒さを解決した自然住宅『保土ヶ谷区A邸』

敷地面積 84・52㎡ (25・57坪) 延床面積 67・40㎡ (20・39坪)



生まれ変わった住まい。

■ Aさんご家族が建替え前の家に引っ越されたのが1997年。小学校に入学したばかりの上のお嬢さんと幼い息子さん。下のお嬢さんはまだ生まれていませんでした。ご夫婦で3人の子どもさんたちを育てた思い出の家です。ただ、横6・5m×縦13mの細長い敷地の家は、中心部の階段で南北に間取りが分断されており、玄関から入るとすぐに壁、収納が足りないなど、不便さを感じていました。その上、窓の結露が大変だったそうです。

冬は帰宅すると、コートも脱がずに先ずガスファンヒーターのスイッチを入れるほど寒く、夏はエアコンが効かない暑い家でした。

2020年、御長女、御長男はすでに家から独立していましたが、夏の暑さ・冬の寒さと結露、そして不便な間取りも解決できるリフォームができないか、オルタスクエアに相談に来られました。

調査と打ち合わせを重ねた結果、既存の骨組のままでは不便な間取りを変えられないことがわかってきました。その時、ご主人より「建て替えの方がいいのでは」と、発案があり、計画が新築設計に方向転換することになりました。

2021年の秋、設計打ち合わせが始まり、翌年夏に仮住まいに引越し、既存家を解体。新しい家の完成は、2023年1月でした。

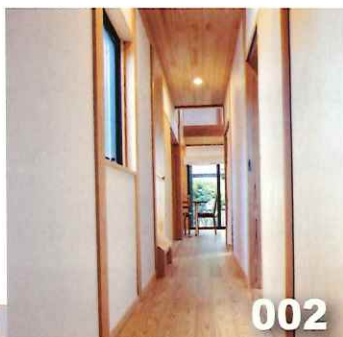
● それから2年が経過した今年の初夏に、A邸を訪問してお話を伺いました。

✿ Aさん『夏の暑さが全然違います。エアコン1台で家中が涼しくなり、冬は帰宅すると暖かく、次女と「すぐにコートが脱げるね」と話しました。吹き抜けは、住宅見学会の時に主人が『いいなあ』と気に入り、我が家に取り入れることに。小さな家が狭くならないか心配しましたが、問題なかったです。家の完成後に、帰省した長男が、家に入るなりびつくりして1階から2階まで隅々まで廻り、「これがおんなじ家?」と驚いていました。いま、長女のところの孫たちは、4歳のお兄ちゃんと、1歳9ヶ月の双子ですが、孫たちはこの家が大好きです。上のお兄ちゃんは、階段の踊り場コーナーがお気に入り、ミニカーを集めて自分の世界を作り、下の双子たちは、リビングの木のベンチが遊び場です。玄関から吹き抜けのあるLDKまで長い廊下になりますが、双子の内の女の子は、荷物を引きずりながらこの廊下を何度も往復し、その姿がキャビンアテンダントのようで可笑しいです。時々帰省する長男は「子供の時にこの家に住みたかったなあ」と冗談を言いながらロフトを自分のスペースにしたいと考えているようです。』

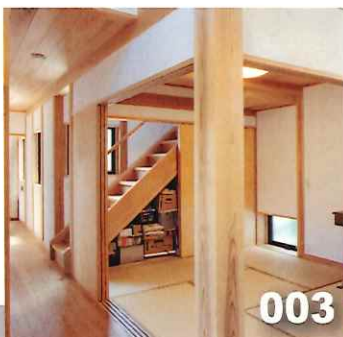
新たな設計で快適な空間を実現



引き戸玄関のよいところは、扉の開閉が人にぶつからないところ
玄関収納もたっぷりすっきり



玄関からLDKに向けての杉無垢板の廊下
今でも人が遊びに来ると木の香りがするね
と言われるそう



階段と隣接する和室スペース
午前などに建物全体に風を通したいとき、階段下収納の引き戸を開けておきます
階段室の窓から明かりが入ってきます



キッチンの壁面にシンクとガスコンロ。手前に配膳台。壁タイルのおしゃれなパターン「馬踏み(うまふみ)目地(または「破れ目地」)はAさんの発案
目地の色も黒に



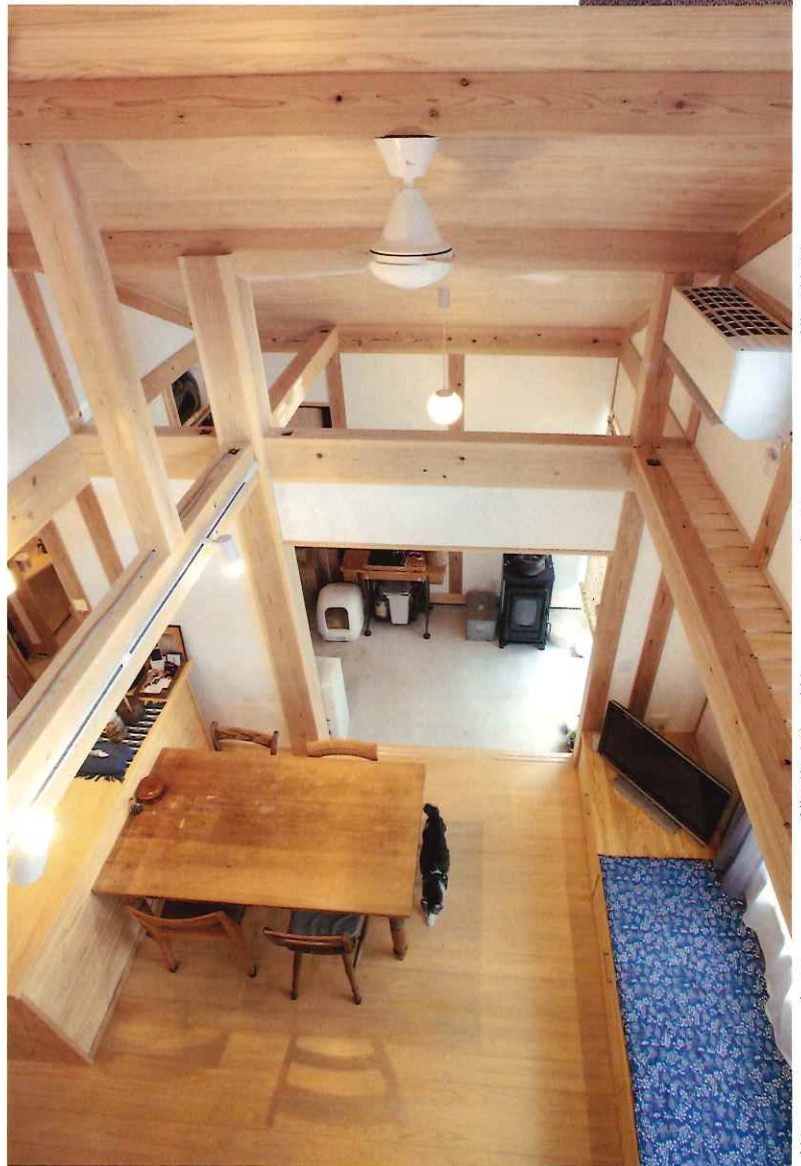
階段を上った2階の廊下にある図書スペース
ゆつくり読書ができるコーナーベンチが隣接してそこからは吹き抜けを見下ろす眺めさらに階段を上るとロフトに





19坪でも広々暮らせる住まい 『緑区I邸』

敷地面積 139・45㎡ (42・19坪) 延床面積 62・19㎡ (18・80坪)



■ I邸の完成は昨年2024年の秋。最初の冬を越して、これから初めての夏を迎えます。そんな時期にI邸を訪ねました。

蒸し暑い日だったのに、お家に入ると涼しいだけでなく気持ちがいいです。北側の勝手口から通り抜けの土間があり、抜けた先のお庭は半分ほどが畑になっていました。

外壁は無垢の杉板張りですが、それを保護する自然塗料を、実はIさんがほぼ一人で塗りしました。以前に、お友だちが取得した中古住宅のリフォームで漆喰壁塗りを手伝ったこともあり、できることはDIYでやりたいというIさんに、お話を聞きました。

★ Iさん『これまでマンション住まいでしたが、長く空き家になっていた夫の実家の劣化がひどく、とりあえず解体したものの、今度は草丈2mもの雑草がびこり、どうにかしなければと選択を迫られて、家を建てることになりました。新築にあたりまず考えたのは、「シンプルで小さな家を低予算で」ということでした。フランチャイズ店が出していた1000万円台の規格型住宅も見学しましたが、やはり「無垢の木を使いたい、漆喰を塗りたい」という気持ちから、オルタスクエアに相談することにしました。

● 設計をお願いした建築士の堺原さんには、「60代夫婦と猫が住む小さな木の家。高齢になっても暮らしやすい家」ということをお伝えし、その後何度も打合せを重ねながら「躯体はしっかりと、あとは質素に簡素に」という方向で進めていただきました。

完成したこの家は、空気が気持ちいいです。夫は、「ご飯がおいしくなった」と言っています。畳3枚だけの和室で寝転ぶと、大工さんが苦心して組んでくれた格(ごう)天井が目に入り、にんまりと眺めてしまいます。緩やかな角度の階段や手すりの手触りも、昇り降りのたびに心地いい。2階の居室の引き戸は、いなかの家を解体した時のものを再利用してもらいました。古びた建具や使い込んだ家具もおさまるべきところに収まった感じが、とても満足しています。

吹き抜けの梁(はり)の一部にキャットウォークを作ってもらったのですが、猫は想定外に梁全体を自在に渡り歩いています。既にオシッコのシミらしきものも見えますけれど、人間は手も足も出せません。猫はこの家に来て元気になったと思います。』

新たな設計で快適な空間を実現



001 土間を挟んで東側にあるトイレは杉板の腰壁と漆喰塗りの内装



002 和室土間を上げるLDKとその奥に和室作り付けのベンチ下収納は大容量



003 漆喰壁がきれいに輝く階段。木の手すりが心地よい。2階には居室が二つ



004 Iさんのいなかの家で使われていたものを再利用した二階の居室の引き戸。今では入手困難な昭和「型ガラス」レトロな味わい



005 2階北側の居室。本棚奥は屋根勾配を利用した納戸。猫は梁から納戸の窓に飛び込みくつろぎます





今ある住まいを手直ししながら大事に住んでいこう

信頼できるオルタスクエアの住まいの点検とメンテナンス

1. 屋根



●**有料屋根点検**
専門の知識と経験を持つ屋根担当が、屋根の状態を調べ、写真と報告書をお出しします。
費用は税込み 9,900円

2. 床下

●**有料床下点検**
床下にシロアリが発生しているか、湿度が高いかなどを点検します。
費用は税込み 8,800円です



シロアリ部分防除・床下全面防除

シロアリ防除に普通に使用されている殺虫剤の中には、有機リン系やネオニコチノイド系など、人やペット、そして昆虫などに深刻な危険性を持つものがあります。できるだけ合成殺虫剤の使用を避けましょう。

シロアリは林や森には普通に生息しており、朽ちた木材を分解したり、他の生物の餌になるなど、生態系の循環で大事な役割を果たしています。しかし、床下に入られた場合は駆除する必要があります。関東に生息するヤマトシロアリは、合成殺虫剤を使わなくても沖縄の植物「月桃（げつとう）」の香油成分で駆除できることが分かっています。ちなみに、沖縄ではお餅を月桃の葉で巻いて保存するなど、昔から使われており、人や動物への害はありません。

シロアリ被害が部分的な場合は、被害箇所のみを月桃成分処理で済みます。
費用は被害の範囲によって
税込み 4万円～10万円くらいです。

床下に広範囲に被害が広がっている場合は、3年保証の床下全面防除を行います。
費用は床下面積1坪当たり 税込み104,720円です。
(10坪以下は一律税込み104,720円)



月桃マイクロカプセルの散布



ヤマトシロアリ



月桃の花

3. 雨漏り調査と雨漏り補修

住まいを長く維持していくうえで、雨漏りは急ぎ解決しなければならぬ問題です。雨漏りにより建物の木材が濡れたり乾いたりを繰り返すと、腐朽が進んでしまうためです。

雨漏り原因調査

2名体制で、雨漏りの原因箇所を突き止めるための水かけ調査を行います。
費用は調査範囲により
税込み 33,000円～66,000円くらいです。

雨漏り補修工事

補修が必要な範囲により費用は
税込み 27,500円～10万円以上かかる場合もあります。

補修工事例

水かけ調査により、配管ダクトに隠れていた部分に多くの穴や亀裂があるのが見つかりました。亀裂や穴をすべてコーキングで埋めてから、もう一度水かけ調査を行い、きちんと雨漏り補修ができていることを確認しました。



水かけ調査により原因箇所を発見！

施工例 after



コーキングやカバー部材で雨漏り防止補修を行います

4. オルタスクエアの耐震診断

昭和56年（1981年）よりも前に建てられた住宅は、現在の耐震基準でチェックすると、耐震強度の数字が悪く出ます。各自治体は、その数値を現在の基準をクリアできるように高める耐震工事について、費用の補助を行っています。

自治体の補助が出る耐震診断を受けると数値が悪くなるため、住んでいる人は多くの場合不安になります。しかし、耐震工事は高額になることが多く、悩むケースがしばしばあります。

オルタスクエアの耐震診断は、どのような耐震工事を計画すれば有効か、また、耐震数値が基準をクリアできない場合でもどのような生活上の対策が考えられるかなどを、住まい手と話し合いながら、確認していきます。

費用は税込み 88,000円です。



耐震診断で、床下から筋交いの状況などを確認

ホーム・メンテナンス紹介

住まいの
「健康」「環境」「安全・安心」
を守っていく



自然素材を活用した心安らぐリフォーム

化学物質のリスクをできるだけ削減し、自然の力に支えられた健康な住まいと環境を広げていく

施工例

after

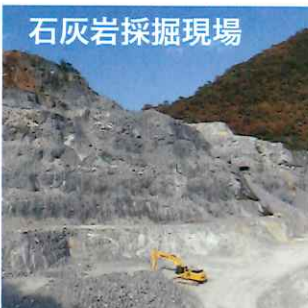


befor



和室の壁の土壁が、経年変化でポロポロ崩れるようになってきたので、塗り替えをご依頼。白い漆喰に塗り替えたところ、雰囲気がとても明るくなりました。

石灰岩採掘現場



石灰岩を塩と



特徴

土壁のようにポロポロ崩れることがありません。本物の漆喰は1㎡あたり約60mgの水分を調整します。臭いも分解します。アルカリ性を長く保つので、カビやウィルスを抑制する力があります。静電気を帯びないので漆喰の白さがずっと続きます。

精製

これを特別な釜で塩を混ぜながら焼き、結晶の大きい生石灰（せいせっかい）をつくり、次に水を加えて「消石灰」（しょうせっかい）にします。鏝（こて）で塗り易いように海藻糊を、また、ひび割れ防止に植物繊維を加えたものが、無添加の漆喰です。

1. 漆喰

主原料は、海の中でサンゴや放散虫などからつくられた石灰岩。主成分は炭酸カルシウム（CaCO₃）

施工例

after



窓辺のすだれスクリーンとレースカーテンを猫間障子に替え、スッキリした印象になりました。



放射形状の珪藻
他にも色々な形がある



珪質頁岩



細孔があるので霧吹きで水をかけても吸ってしまいます

2. 珪藻土

特徴

1㎡あたり155mgの水分を調整します。（珪藻土含有80%の場合）。においや有害化学物質も吸収分解します。

和風改装をご希望されたため、リビングの天井と壁の白い壁紙を、成分80%の珪藻土で塗り、腰壁にはヒノキ無垢板を貼りました。傷んできた合板床はナラの無垢板に張り替えました。

海や湖に住む珪藻（けいそう）という植物プランクトンは、ガラス質（成分は二酸化ケイ素SiO₂）で細かい穴がたくさん開いた殻を持っています。この殻が堆積したものが珪藻土です。日本では珪藻土の七輪は断熱性が高く、遠赤外線を出して魚が美味しく焼けることから重宝されてきました。この珪藻土を細かく砕き、白土・海藻糊・植物繊維を加えたものが無添加の珪藻土塗り壁材です。

特徴

無垢木材は、漆喰や珪藻土に比べると吸放湿スピードは遅いですが、厚さ1.5cmで1㎡あたり約330mgの水分を吸ったり吐いたりします。そのため、無垢材を多く使った室内は、梅雨時から夏にかけて湿度が低く、逆に冬でも湿度が保たれて加湿器が要らない空気環境をつくることができます。木は成長の過程で二酸化炭素を吸収し、動物にとって必要な酸素を放出します。木は体の中に炭素を蓄えることで、地球温暖化を押しとどめる役割を果たしています。

今、林産地では、スギだけヒノキだけの森では木が弱くなってしまうので、広葉樹との混交林を広げていくという動きが進んでいます。そうすることで生態系が豊かになり、スギやヒノキも丈夫に育つだけでなく、山から流れる水にミネラルが多く含まれるようになり、川や海で魚や貝もよく育つようになります。

3. 国産無垢材

日本の2023年度の国産木材の供給量を種類別にみると、
1位がスギ（1192万立方メートル）
2位がヒノキ（318万立方メートル）
3位がカラマツ（184万立方メートル）

befor



2階のお部屋の床を、カーペットから杉の無垢材に替えました。スギは柔らかく、傷がつきやすい代わりに、空気を多く含むため、冬に素足で触っても温かみがあります。

after
施工例



* JR 横浜線の線路沿いです



生活クラブの家づくり
オルタスクエア



<http://www.a-sq.co.jp/>

生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F

電話：045(476)1105 (日曜・祭日休)

FAX: 045(476)1106

mail: info@a-sq.co.jp

(ご相談はメールでも受付けています!)



私たちオルタスクエア株式会社は 1998 年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。

張り替え カーテン 家具 カビ対策 キッチン交換 ユニットバス工事 トイレ工事 給湯器交換 在来浴室工事 植栽 外構工事

2025 夏